

平成 26 年 5 月 21 日

2014 年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果 ～ 人間関係重視のなか、生活との調和も大切 ～

西日本シティ銀行グループは各種の調査を継続して実施しております。
今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ & コンサルティングが、毎年 4 月を中心に行っている新入社員を対象とした公開セミナー及び企業内研修に参加いただいた九州・山口地区の新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果によれば、新入社員の 75.4%が「人間関係の良さ」を会社に求め、54.7%が「上司・先輩・同僚との人間関係」に不安を感じている。一方で会社に求めるものは、「十分な休日や余暇の時間」が2年連続して増加、給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」も2年連続で増加していることから、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が強くなったように感じられた。

1. 就職先が「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計は 93.6%、「希望どおりでない」は 6.4% という結果であった。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「仕事にやりがいがある」が 44.2%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の 42.6%、「会社の雰囲気・イメージ」の 40.1%という結果であった。
3. 働く目的は、「生活の安定」が 69.5%で最も多く、次いで「自己成長」の 60.1%、「やりがい」の 43.3%という結果であった。
4. 給料と残業に対する考え方は、「残業は多くても、給料が多いほうがよい」が 50.5%、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が 49.5%という結果であった。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

(株)NCB リサーチ & コンサルティング 調査部 担当：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル 13 階
電話：092 - 282 - 2662

調査概要

1. 調査の目的

職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

平成26年3月28日～4月16日

3. 調査対象

平成26年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナー及び企業内研修の参加者

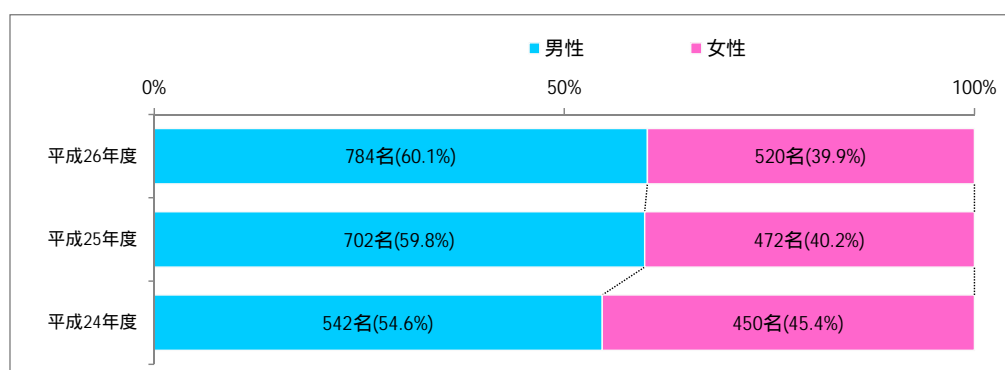
対象：1,321名(279社) 回答：1,304名 回答率：98.7%

研修開催地

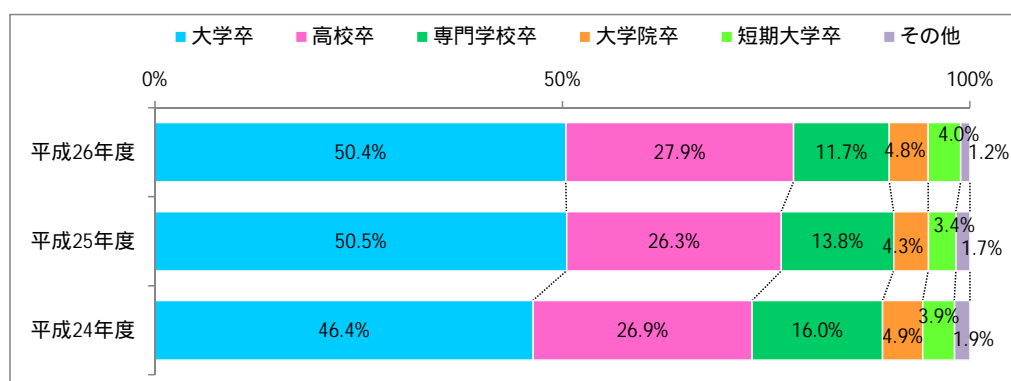
公開セミナー(22コース) : 福岡市、北九州市(小倉、黒崎)、久留米市、飯塚市、
長崎市、熊本市、宮崎市、大分市

企業内研修(8コース) : 福岡市、甘木市、鹿島市、別府市、下関市

性別



最終学歴



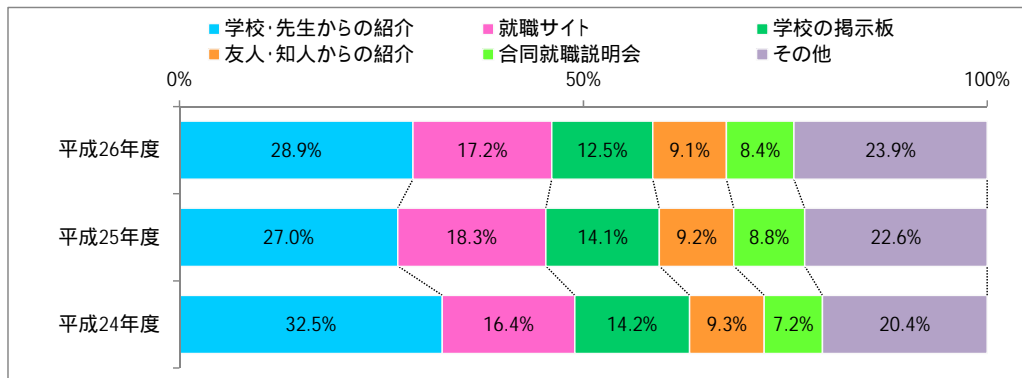
4. 調査方法

アンケート用紙の配布・回収(新入社員公開セミナー・企業内研修時)

【アンケート結果】

1. 就職先を知った最初のきっかけ（1つ選択）

全体では「学校・先生からの紹介」が28.9%で最も多く、次いで「就職サイト」の17.2%、「学校の掲示板」の12.5%という結果であった。昨年との比較では、「学校・先生からの紹介」が増加したが、「就職サイト」、「学校の掲示板」、「友人・知人からの紹介」、「合同就職説明会」は減少した。

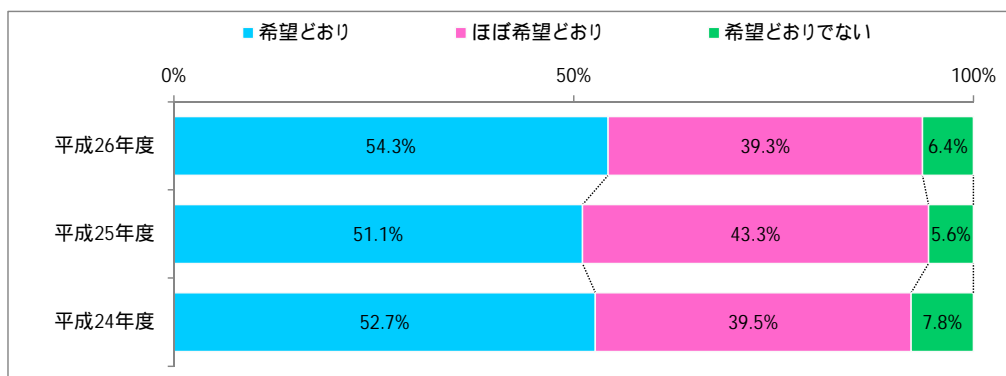


【コメント】

年々「その他」の比率が高くなっており、就職先を知るきっかけが多様化していることがうかがわれる。

2. 希望している会社に就職できたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が54.3%、「ほぼ希望どおり」が39.3%で、あわせて93.6%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は3.2ポイント増加、「ほぼ希望どおり」は4.0ポイント減少、「希望どおりでない」は0.8ポイント増加した。

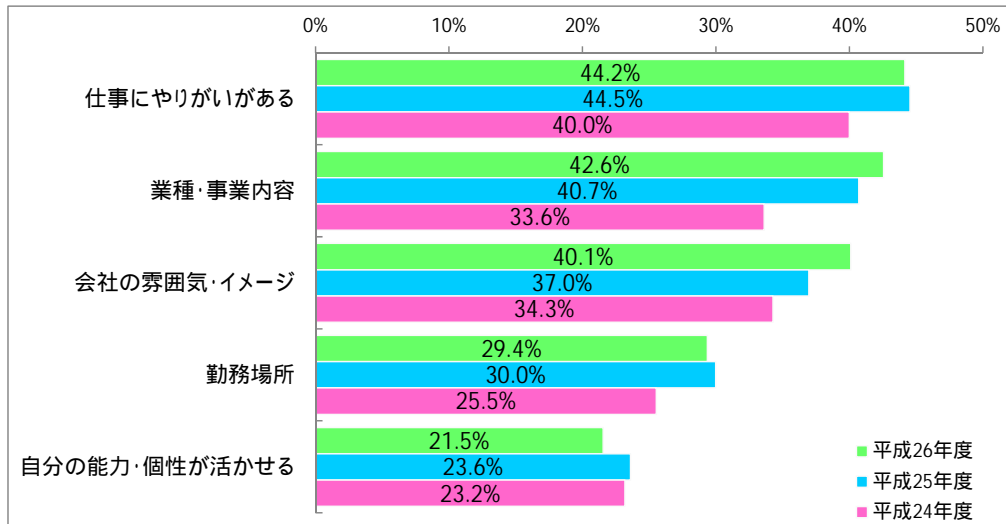


【コメント】

「希望どおり」が3.2ポイント増加する一方で、「希望どおりでない」も0.8ポイント増加しており、就職環境が好転しつつあることを受けて、就職先に対する要求も高まっていることがうかがわれる。

3. 就職先を決める時、重視したもの（3つまで選択）

全体では「仕事にやりがいがある」が44.2%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の42.6%、「会社の雰囲気・イメージ」の40.1%という結果であった。昨年との比較では、「会社の雰囲気・イメージ」が3.1ポイント、「業種・事業内容」が1.9ポイント増加した。

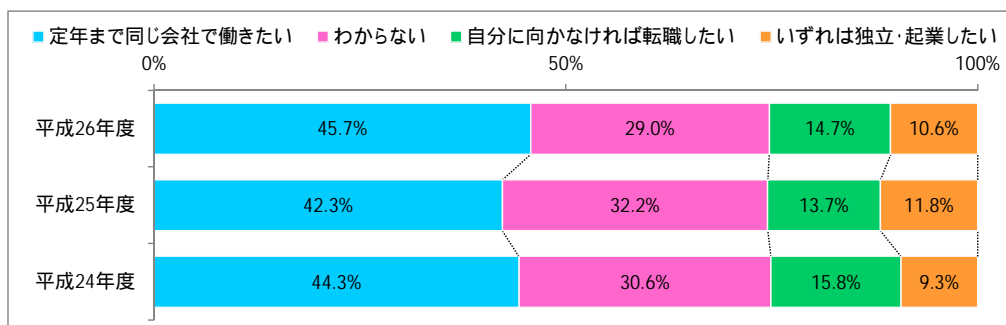


【コメント】

昨年との比較で、「会社の雰囲気・イメージ」、「業種・事業内容」の増加が目立っており、選択肢を広げて就職活動を行っていることがうかがわれる。

4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が45.7%で最も多く、次いで「わからない」の29.0%、「自分に向かなければ転職したい」の14.7%、「いずれは独立・起業したい」の10.6%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が3.4ポイント増加、「わからない」が3.2ポイント減少、「自分に向かなければ転職したい」が1.0ポイント増加、「いずれは独立・起業したい」が1.2ポイント減少した。

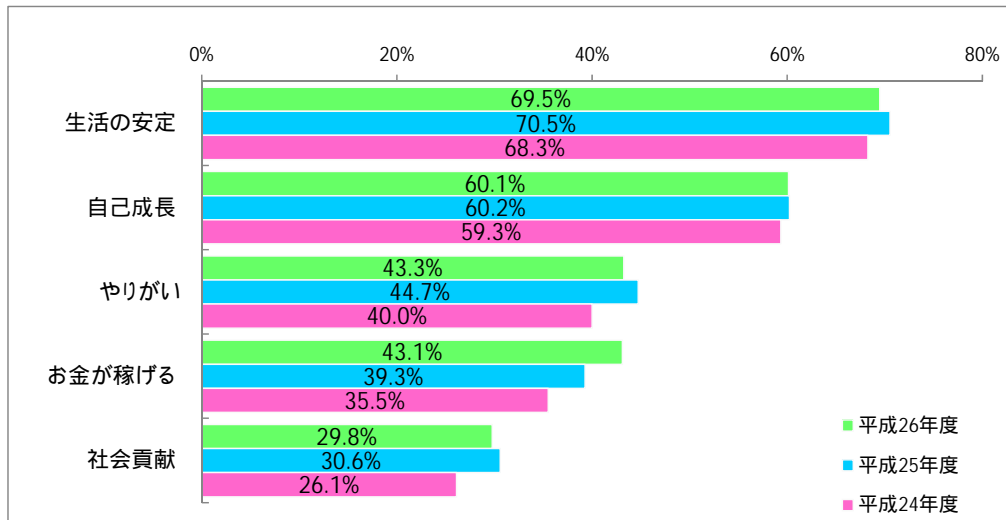


【コメント】

「定年まで同じ会社で働きたい」が増加しており、安定志向がうかがわれるが、就職をとりまく環境の変化で「自分に向かなければ転職したい」も増加している。

5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が69.5%で最も多く、次いで「自己成長」の60.1%、「やりがい」の43.3%という結果であった。昨年との比較では、「お金が稼げる」の3.8ポイントの増加が目立っている。

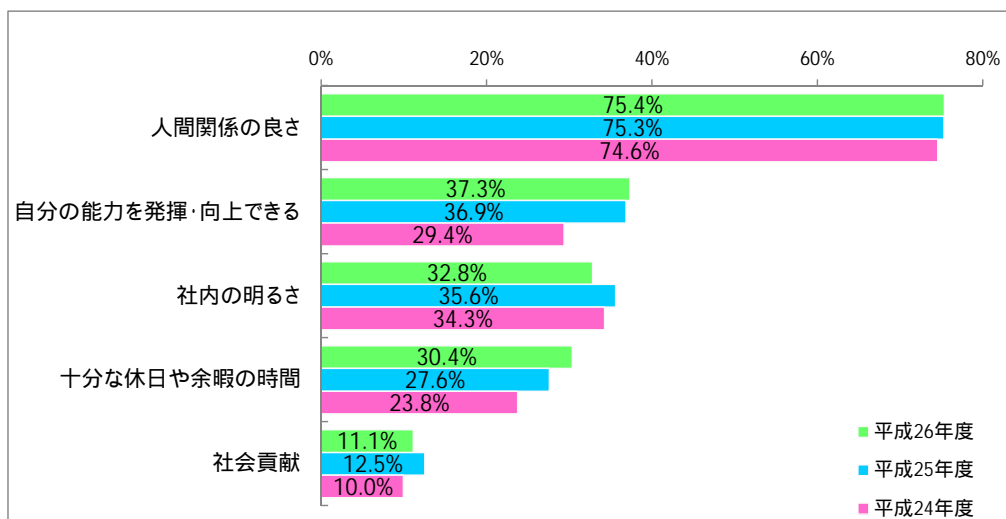


【コメント】

「自己成長」、「やりがい」が減少する一方、「お金が稼げる」が3.8ポイント増加しており、ドライな面がうかがわれる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が75.4%で最も多く、次いで「自分の能力を發揮・向上できる」の37.3%、「社内の明るさ」の32.8%という結果であった。昨年との比較では、「十分な休日や余暇の時間」の2.8ポイントの増加が目立っている。

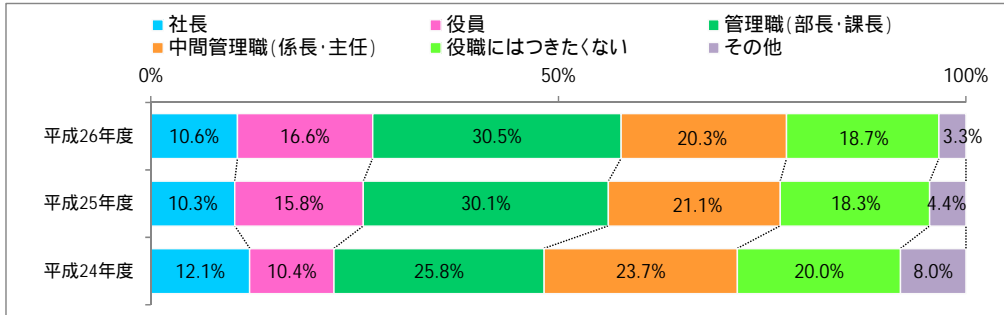


【コメント】

人間関係がよく、十分な休日や余暇の時間がある会社で働きたいという若者のやや贅沢な思いが読み取れる。

7. 将来、どのポジションにつきたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が 30.5%で最も多く、次いで「中間管理職（係長・主任）」の 20.3%、「役職にはつきたくない」の 18.7%という結果であった。昨年との比較では、「社長」から「管理職」までと「役職にはつきたくない」が微増、「中間管理職」が微減している。

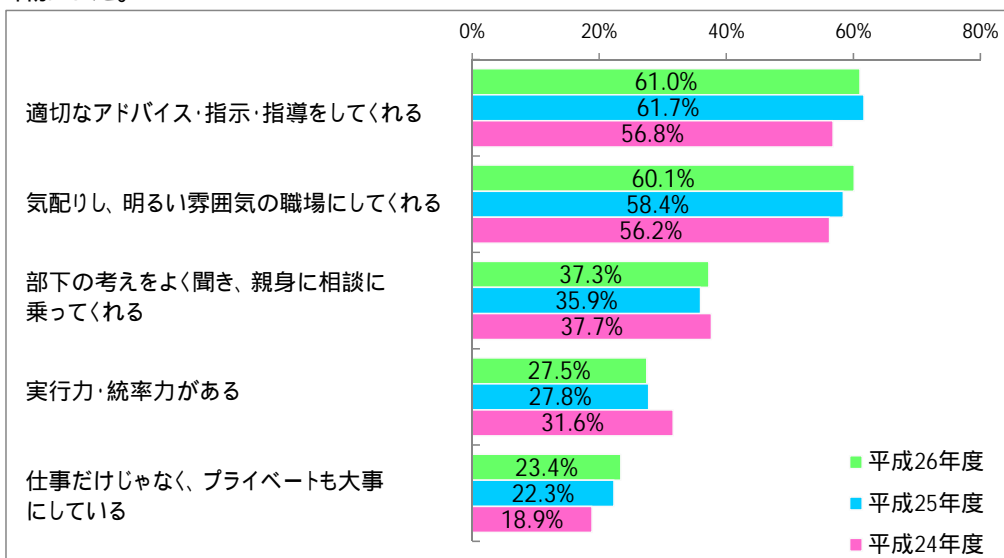


【コメント】

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では 57.7%で、昨年の 56.2%を 1.5 ポイント上回っており、出世意欲の高まりが感じられる。最終学歴別では、管理職以上を希望する割合は、大学院卒で前年比 12.7 ポイント減少した半面、専門学校卒では 11.9 ポイント増加した。

8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が 61.0%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の 60.1%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 37.3%という結果であった。昨年との比較では、「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」が 1.7 ポイント、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」が 1.4 ポイント増加した。



【コメント】

社会人としての能力不足、コミュニケーション能力不足を反映してか、力強く引っ張っていく上司よりも、きめ細やかな指導、気配りのできる上司を求める傾向が続いている。

9. あなたにとって理想の上司のイメージに合う有名人は誰ですか（男女1名ずつ）

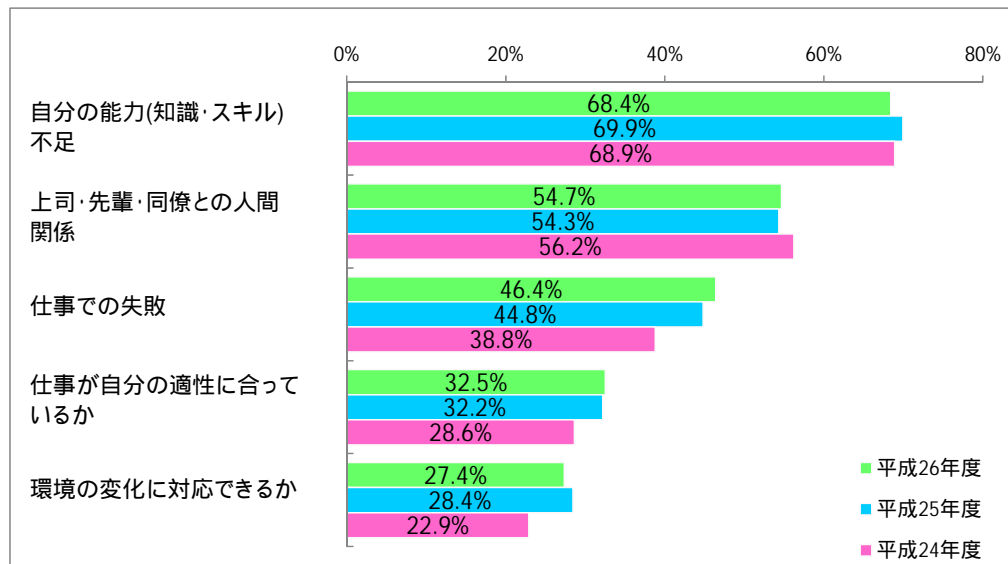
全体では、男性有名人は「タモリ」が最も多く、次いで「堺雅人」、「明石家さんま」という結果であった。女性有名人は3年連続で「天海祐希」が最も多く、次いで「江角マキコ」、「真矢みき」という結果であった。

男性 平成26年度			男性 平成25年度			男性 平成24年度		
1	タモリ	68	1	明石家さんま	38	1	所ジョージ	43
2	堺雅人	45	1	所ジョージ	38	2	イチロー	32
3	明石家さんま	40	3	タモリ	34	3	阿部寛	25
4	竹野内豊	35	4	イチロー	26	4	タモリ	20
5	イチロー	30	5	堤真一	24	5	北野武	18

女性 平成26年度			女性 平成25年度			女性 平成24年度		
1	天海祐希	169	1	天海祐希	150	1	天海祐希	98
2	江角マキコ	53	2	江角マキコ	73	2	真矢みき	71
3	真矢みき	42	3	真矢みき	41	3	江角マキコ	49
4	篠原涼子	29	4	仲間由紀恵	27	4	和田アキ子	30
5	和田アキ子	24	5	和田アキ子	25	5	松嶋菜々子	29

10. 仕事や生活に対する不安は何ですか（3つまで選択）

全体では、「自分の能力（知識・スキル）不足」が68.4%で最も多く、次いで「上司・先輩・同僚との人間関係」の54.7%、「仕事での失敗」の46.4%という結果であった。昨年との比較では、「仕事での失敗」の1.6ポイントの増加、「自分の能力（知識・スキル）不足」の1.5ポイントの減少が目立っている。

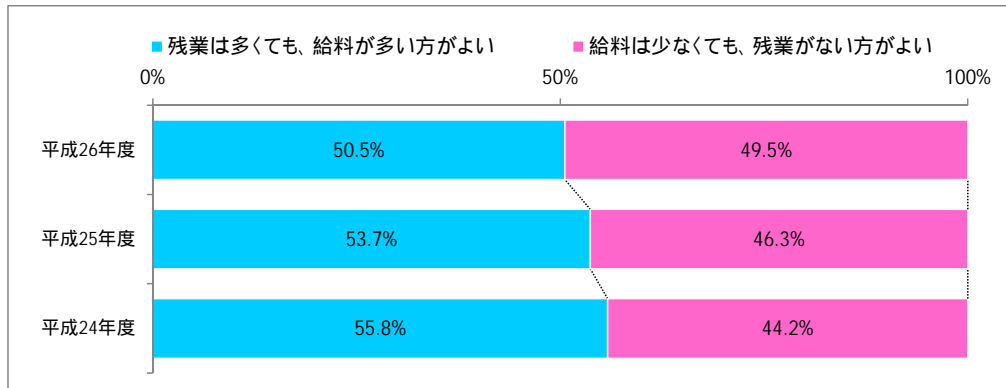


【コメント】

就職戦線を勝ち抜いてきたが、職業人として能力が不十分なことは自覚している。「仕事での失敗」への不安が年々増加しており、目立ちたくない、横並びで行きたいとの考えが背景にあるのではないと思われる。

11. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「残業は多くても、給料が多い方がよい」が50.5%、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が49.5%であった。最終学歴別では大学院卒、専門学校卒、高校卒は「残業は多くても、給料が多い方がよい」がそれぞれ51.6%、55.3%、61.6%で、大学卒、短大卒は「給料は少なくても、残業がない方がよい」がそれぞれ53.2%、64.7%であった。昨年との比較では、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が3.2ポイント増加した。

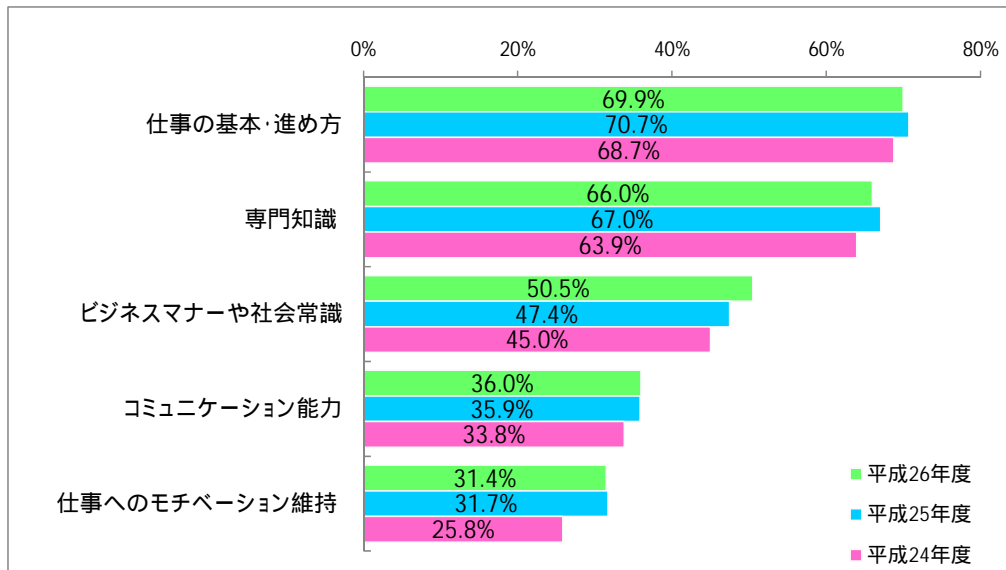


【コメント】

出世意欲の高まりはみられるものの、残業には消極的で、プライベートの時間も充実させたいとの思いが感じられる。

12. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が69.9%で最も多く、次いで「専門知識」の66.0%、「ビジネスマナーや社会常識」の50.5%という結果であった。昨年との比較では、「ビジネスマナーや社会常識」の3.1ポイントの増加が目立っている。



<最後に>

今回のアンケート結果から、新入社員は自分自身の職業人としての能力やビジネスマナーが不足していることを十分認識していることがわかります。また、SNSに慣れ親しんだ世代であることを反映し、人間関係やコミュニケーションには不安を抱えています。

一方で会社に求めるものは、「十分な休日や余暇の時間」との回答が2年連続で増加し30.4%となっています。また、給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」と答えた人が2年連続で増加し49.5%となっており、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向が強まっていることが見えてきます。

新入社員の価値観には納得できない部分も多々あると思いますが、価値観の形成には、育ってきた環境や経験が大きく影響することを理解する必要もあると思います。

研修を担当した当社講師の話によると、研修内容に関する理解力はかなり高いものを持っている人も多く、その力を伸ばし、成長させ、組織の中で活かしていくことが、企業の将来の戦力につながります。

会社の財産である新入社員に対して、「企業の理念・ビジョン」、「企業の存在価値」をしっかりと伝えていただき、日々接する際には、新入社員が不安に感じている事柄を十分理解し、サポートすることが大事ではないでしょうか。

本調査結果が、その一助になれば幸いです。

- ご利用に際して -

本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ & コンサルティングと明記してください。

本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。